

会員企業紹介/トップメッセージ

メンバーリレーション委員会では会員企業を皆様へもっと知って頂くため、各企業を訪問しトップの方々のメッセージをお伝え致します。

三回目の今回はイーグローバレッジの野村専務取締役 執行役員・CS 本部長のメッセージをお伝えします。

当社は 1990 年に日商岩井(現 双日)の 100% 出資によりエヌ・アイ・ハイテク(株)として設立され、2000 年にアイ・ティー・エックス(株)の連結子会社となりました。その後 2001 年にニチメン電子工研(株)と合併し、2002 年には ITX(株)よりエレクトロニクス事業等の人員と営業権



の一部を継承して ITX イー・グローバレッジ(株)となりました。2007 年には社名をイーグローバレッジ(株)に変更し、2014 年に中西金属工業(株)のグループ会社となって現在に至ります。(中西金属工業はペアリングのリティナーや工場のコンベヤーのメーカーで海外展開をしており高いシェアを確保しています。

私自身は日商岩井に入社して産業機械関連の輸入受け渡し業務(ロジスティクスやドキュメンテーション業務)から社会人のキャリアをスタートし、二度の海外駐在を経て、その後担当が産業機械からエレクトロニクスへ移ってきて現在にいたっております。2003 年に当社に参加する前 2000 年前後の米国顧客が日本や台湾/中国に製造委託を行っていた時期にはオフィス機器の OEM ビジネスに従事し、大阪にある取引先製造業へも出向していた経験もあります。

当社の電子部品事業の前身は「TDO」ブランドの抵抗器を展開していた東京電音(株)となります。引き継いだビジネスは TDO ブランド抵抗器に加え、国内メーカー製の電子部品・半導体の販売でしたが、現在はそのビジネスに加えて海外メーカー製の各種コネクターや MEMS マイク、液晶モジュール、カスタム電源などの輸入国内販売と共に、当社香港法人を活用した海外取引も行っています。

他のビジネスとして、総合商社の子会社時代から続いている輸出が主となる半導体製造装置・検査装置、材料の分析機器や放送機器等のビジネスに加え、監視カメラ等のイメージング

製品やストレージ/サーバー関連製品、衛星通信機器等の新規ビジネスを立上げしてきました。

新しいビジネスは、顧客のニーズから開発してきたニッチな製品が多いものの、既存ビジネスとの組み合わせや関連する新たな製品の取り扱いを通して更に育成し、ビジネス拡大を図って参ります。また、取扱い製品のほとんどで技術サポートが必要であり、そのためにもメカトロニクスやソフトウェアの経験のある FAE を採用し、顧客とサプライヤーに技術サポートの面でも満足、信頼いただける専門技術商社に向けて進んでいきたいと考えております。

以上